令和5年度 第2回白州地域委員会会議録

- 1 開催日時 令和5年12月4日(月曜日)午後7時00分開会~午後8時30分閉会
- 2 開催場所 はくしゅう館 2階会議室(第1、2会議室)
- 3 出席委員 山田輝夫、宮澤護、小林あつ子、渡辺幹冶、白砂行教、 岡村哲雄、埴原初美、名取ます江、横森勝、小林秋雄、 山﨑君江、渡邊正已
- 4 欠席委員 原 巧三、小野光一、名取初美、中山眞理子
- 5 事務局員 支所長 河手 貴 地域市民課長 山田健二 地域市民課市民担当 田中真美
- 6 議 題 (1) 白州地域委員会各小委員会における経過報告について
 - (2) 令和5年度白州地域委員会予算使途提案事業執行状況について
 - (3) 令和6年度白州地域委員会予算使途提案事業について
 - (4) その他
- 7 公開・非公開の別 公開・非公開(理由:非公開の場合は理由を記入)
- 8 傍聴人数 0人

司会(事務局)

- 1 開会(宮澤護副会長)
- 2 会長あいさつ(山田輝夫会長)
- 3 支所長あいさつ (河手 貴支所長)
- 4 議事録署名人 岡村哲雄、埴原初美
- 5 議事

議 長:第1号議案『白州地域委員会における経過報告について』各小委員長より 報告を求める。

小委員長: 広報・防災小委員会の活動報告を広報防災小委員長が行う。7月5日(水)午後1時30分から、はくしゅう館2階会議室において広報・防災小委員会を開催。令和4年度活動報告及び決算報告、令和5年度事業計画(案)について検討した。令和5年度事業計画では、地域委員会だより第26号の発行及び研修会実施内容について検討した。7月25日(火)はくしゅう地域委員会だより第26号を全戸配布。11月1日(水)赤十字奉仕団白州支部主催の応急手当法講習会、11月10日(金)白州中学校防災学習会のサポートを行う。本日、午後6時から広報防災小委員会を開催し、令和6年3月発行の地域委員会だより第27号について検討した。

今後の活動計画は、令和6年3月末、白州地域委員会だより第27号を発行し 全戸配布を行う。また、時期は未定であるが峡北消防署職員による普通救命講習会を受講する予定である。

次に提案事業小委員会の活動報告を提案事業小委員長より行う。5 月 30 日 (火) 午後7時からはくしゅう館2階会議室において「第 1 回予算使途提案 事業小委員会」を開催した。補助金交付申請があった 23 事業について審査検 討を行い承認した。

次にイベント・コミュニティー小委員会の活動報告を小委員長欠席のため 事務局より説明を行う。第35回甲斐駒の里名水まつり関係出労について、7月3日(月)8月10日(木)10月19日(木)実行委員会を行い、10月28日(土)前日準備、10月29日(日)まつり当日出労を行った。また、第16回北杜市甲斐駒エリアふるさと祭り関係出労については、5月23日(火)7月24日(月)実行委員会を行ったが、台風接近のため中止になった。その後お楽しみ抽選会を11月5日(日)に行い、翌11月6日(月)打ち上げ花火の清掃作業のため出労をした。

最後に、白州地域委員会全体事業の経過報告を事務局が行う。4月27日(木)午後7時から第1回北杜市白州地域委員会全体会を開催した。令和4年度地域委員会事業報告、令和5年度地域委員会事業(案)について検討した。6月11日(日)地域委員会共催「大人のおはなし会」を開催。50名出席した。9月7

日(木) 災害防犯等対策として、地域委員会予算により防犯灯を 10 基購入し行政区の要望に対応する。9月19日(火)地域委員全体研修会「地域委員が地域を知る」を実施し、白州町内にある福祉施設3ヶ所を見学した。9月30日(土)地域委員会共催の「お月見会」を開催した。親子10組が出席。11月2日(木)11月4日(土)災害防犯等対策として、防火用砂砂利の配布を行った。本日、第2回北杜市白州地域委員会を開催し令和5年度事業ならびに令和6年度事業予算(案)について議題とする。今後の活動予定では、12月16日に地域委員会共催の「おはなしひろばクリスマス会」を実施予定。

議 長:各小委員長及び事務局から経過報告があった。意見・質問を問う。

委員:異議なし。

議 長:第2号議案『令和5年度白州地域委員会予算使途提案事業執行状況について事務局に説明を求める。

事務局:「令和5年度地域委員会予算使途提案事業状況表」の資料に基づき説明。 地域委員会予算使途提案事業について、23事業が実施予定で、11月1日現在 の活動費を含めた実績額は10,298,848円、執行率は86.9%である。

議 長:意見・質問等を問う。

委員:実績(見込み)欄が0円の団体は事業を行っていないのか。

事務局:事業がすべて終わってから清算請求を行うと聞いている。11月1日現在で 支払いがないので、執行率にも含まれていない。

議 長:ほか意見・質問等を問う。

委員: 異議無し。

議 長:第3号議案「令和6年度白州地域委員会予算使途提案事業」(案)について、事務局に説明を求める。

事務局:財政課より白州地域委員会へ令和6年白州地域委員会予算使途提案事業予算 (案)として昨年より605千円少ない、11,241千円が示された。提示額を基に、事務局では資料P11令和6年白州地域委員会予算使途提案事業(案)を作成した。各団体への予算配分については、昨年度と同額としたが、イベント予算のうち、支所で事務局を担当している「甲斐駒の里名水まつり」事業及び「花のまちづくり」事業についてそれぞれ減額とした。また、ほっとふるさと推進事業のうち、新規枠を200千円確保していたが、新規申請が無いので半額に減額した。また、地域活性化方策調査及び災害・防犯灯対策推進事業については昨年と同額とした。2つの事業内容については、資料P12のとおりとなっている。事業費内訳は、年2回の地域委員会だよりの発行、地域委員会研修事業及び図書館主催の各種事業費及び防犯等対策費用が主な支出内容となる。

議 長:事務局から令和6年度の予算案が提案されたが、質問・意見はないか

委員:名水まつりや花のまちづくり事業は予算が減額となっても今までどおりの

開催が出来るのか。

事務局:名水まつりについては、今年の実績清算がまだ途中ではあるが、若干の返金になる見込みである。出店者が減ったので出店奨励金やテント数も減少したためと考えられる。予算が減額したところで来年度の実行委員会で検討していく。

事務局: 花のまちづくり事業については、春夏の花苗代で300千円、諸経費で100 千円減額し対応していく予定である。

委 員:名水まつりの場合、企業出店分は自分たちでテント設営などしてもらえば 経費削減になるのでは。

議 長:どこのお祭りも会場設営費が一番大きい負担となる。自分たちで会場設営をしていたこともあるが、今はなかなか難しい。それぞれのお祭りでやり方が違う。甲斐駒エリアふるさと祭りについては、やはり500千円近くのシーリングがあったが、武川地区内の企業商店に寄付を求めて補填し、各戸あたり500円負担するなどして運営している。残念ながら台風により中止になったため、企業商店の寄付金は返金、各戸の負担金を使って抽選会と花火を行った。今年の名水まつりでは、子供たちが発表したり活躍していたことが良かった。工夫次第で例年通りの開催は可能なのでは。必要最低限の経費は掛かってしまう。イベントの企画に対しても査定が入る予定である。大きな予算でイベントが出来るのは令和6年度が最後かもしれない。

議 長:ほか意見・質問等を問う。

委員:伝統文化伝承や獅子舞・道祖神の保存などに対して補助金が交付されているが、台ケ原で長く伝承されている虎頭の舞に対して補助金が交付されることはあるのか。

事務局:補助金の新規枠については、地域委員会だよりの裏面に募集文面を載せて あったが、申請が何年も無かったことで来年度予算を減額した経緯がある。来 年度、新規枠分で申請書の提出があれば提案事業小委員会で検討していく。

議 長:補助金というのは各種事業を育てていくために出すもの。新規事業が出て こなかったので、今後出てきて、地域委員会予算使途提案事業補助金という形 ではなくなったとしても、活性化していくのは良いこと。

議 長:ほか意見・質問を問う。

委員:名水まつりの出労で感じたことだが、障害者用駐車場を増やした方が良い のでは。一般の駐車場に止めている車椅子の方も多く感じた。

事務局:来年度の実行委員会で検討する。

議長:ほか意見・質問を問う。

委員:異議無し。

議 長:第4号議案『その他』について、事務局に説明を求める。

事務局:地域委員報酬の振込先の未提出委員に対し提出を求める。

議 長:ほか意見・質問を問う。

委員:地域委員として移住者と地元民との交流の場を企画できないか。現在住民の4分の1くらいは移住者である。移住者が声をあげるところがない。地域委員になってみて、早急のことは対応するけれど、未来の北杜市のために活動していないように感じた。

議 長:対応としては、地域委員会よりは区長会ではないか。地域委員会の事業と して活動するか、事業団体を立ち上げて補助金の交付を受けることも考えられ る。あと2年間の任期の中でどこまでできるか検討していければいいと思う。

議 長:ほか意見・質問を問う。

委 員:なし。

議 長:以上を持って、議題(1)~(4)までの審議を終了とする。

6 閉会(宮澤護副会長)

令和5年12月15日

 議事録署名人
 印

 議事録署名人
 归